

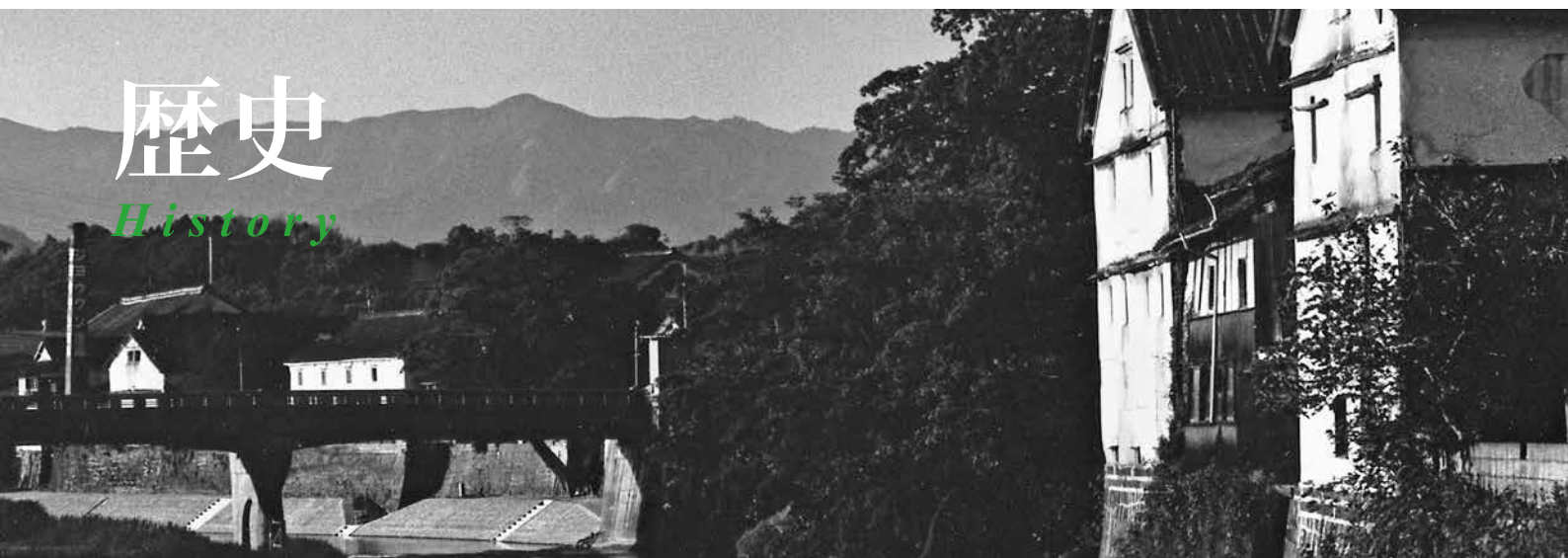
みふね

町勢要覧
2021

熊本県御船町

歴史

History



自然

Nature



遺産

Heritage



みふねの由来は

景行天皇が

九州を平定するために

ご巡幸されたおり

御船（おんふね）が

着岸したことによる――



昭和 63 年 5 月 3 日の集中豪雨で流出した御船川目鑑橋（提供／松永写真館）

町花 フジ

戦国時代の御船城主・甲斐宗運の家紋が下り藤と云われ、歴史的な由緒から選定されている。（昭和 50 年 1 月選定）



町木 モッコク

温暖な気候を好み、九州の近海地帯に分布する常緑樹木であり、御船の山野にも自生している。（昭和 50 年 1 月選定）

御船町長

藤木 正幸



御船町は九州のほぼ中央に位置しており、3つのインターチェンジを有し、交通アクセスに優れた場所です。また、水源や高原があり、自然豊かな場所でもあります。

平成28年の熊本地震では、甚大な被害を受けましたが、その被害を乗り越えるため、御船町の総力を結集し、復旧、復興に取り組んできました。令和元年には「第6期御船町総合計画」を策定し、「みんながわくわくする御船町」を将来像として掲げました。この将来像には、震災を乗り越え、誰もが夢や希望を持ち、笑顔があふれる町にしていきたいという思いが込められています。現在は、生活環境をはじめ、教育、産業、観光などの発展に努めて、雇用の創出や移住定住の促進など創造的復興に向けた取り組みを進めています。

本要覧では、御船町の歴史、自然、遺産について取り上げております。この町勢要覧をご覧ください、御船町についてご理解を深めていただけると幸いです。

目次

- 4 - 5 御船町の歩み
- 6 - 7 熊本地震
- 8 - 9 化石遺産
- 10 - 13 悠久の歴史
- 14 - 15 農林業・特産品
- 16 水源
- 17 高原
- 18 - 19 文化
- 20 - 21 歳時記
- 22 - 23 日本一住みたい町
- 24 - 25 九州の大動脈
- 26 - 27 Mifune Map



町章

中央の「ミ」と周囲の船の形で「御船」を表し、船の円形で町民の融和団結による発展を示している。(昭和35年4月制定)



歴史

御船の歩み

昭和30年1月
昭和37年4月
昭和39年3月
昭和47年4月
昭和48年5月
昭和49年4月
昭和50年8月
昭和51年11月
昭和52年11月
昭和54年8月
昭和57年3月
昭和59年2月
3月

御船町誕生

矢部町島木松の生を御船町七滝に編入

熊延鉄道(株)鉄道部が50年の歴史に幕

熊本音楽短期大学が開校

ごみ処理施設が完成

眺世庵が落成

上益城総合庁舎、御船保健所が落成移転

御船警察署が落成

九州縦貫自動車道「熊本〜御船間」が開通

くまもと名勝百景に吉無田高原、御船川目鑑橋、白

壁の酒蔵が入選

日本初の肉食恐竜の化石発見

ひばり荘が落成

吉無田高原「緑の村」の全施設完成

八勢目鑑橋が県重要文化財に指定

御船は南北朝時代、阿蘇家の一族・御船河内守盛安が領有し、戦国時代には御船阿波守行房が支配しました。

しかし、行房は阿蘇家の智将・甲斐宗運に討伐。宗運は功により、阿蘇家から御船千町を与えられ、この地を支配しました。

天正15(1587)年、豊臣秀吉によって肥後の国は二分。御船は小西行長が治めましたが、関ヶ原の戦で行長が滅ぼされると、加藤清正に移り、細川忠利の手に帰しました。

忠利が入国すると、政治の組織や制度に大改革が行われました。なかでも、地方行政の根幹をなした手永制度が編成されると、現御船町の大部分は、木倉手永会所総庄屋の支配を受けました。

明治12年、御船町、滝川村、木倉村、滝水村、上野村、豊秋村の1町5列村となり、昭和28年の町村合併推進法の施行で御船町を中心に合併の気運が高まりました。

昭和30年1月、御船町、滝水村、七滝村、木倉村、高木村、豊秋列村(豊秋、小坂、陣)の6ヶ町村を集め、昭和37年4月に矢部町島木の一部だった松の生を編入して、現在の御船町が誕生したのです。

12月	4月	3月	12月	4月	6月	5月	4月	3月	8月	10月	4月	4月	5月	4月	4月	3月	9月	5月	1月	11月	10月
平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	平成20年	平成19年	平成18年	平成17年	平成16年	平成15年	平成14年	平成13年	平成12年	平成11年	平成10年	平成9年

役場新庁舎が落成

町社会福祉協議会が発足

全国茶品評会で御船町が産地賞を受賞

保健センターが落成

集中豪雨で御船川が氾濫して壊滅的被害

町消防団が災害復旧活動で内閣総理大臣賞を受賞

クリーンセンターが落成

西日本初の恐竜の四肢化石発見

カルチャーセンターが落成

ハローワーク上益城が完成

スポーツセンターが落成

新しくまもと百景に吉無田高原が認定

吉無田水源に水源パークが完成

恐竜博物館がオープン

平成音楽大学が開学

御船町地籍調査が開始

御船高普通科芸術コースが新設

甲佐町と合併の可否を問う住民投票が実施

御船高が全国高校ロボット競技大会で優勝

シンボルロードが全線開通

九州中央自動車道「嘉島～小池高山間」が開通

恐竜博物館新館がオープン

門前川目鑑橋が県重要文化財に指定

上益城消防組合消防本部新庁舎が落成

熊本地震が発生し、甚大な被害を受ける

学校給食センターが落成

地震で被災した街なかギャラリーが復旧

小坂大塚古墳が県南最大級の円墳となる

吉無田高原緑の村にグランピングエリア「星の森ヴィラ」が完成

高木保育園が民営化される

九州中央自動車道「小池高山～山都中島西間」が開通



吉無田高原山頂から望む山々

熊本地震の発生



△▷地震により土砂崩れなどの被害を受けた

2016年4月に熊本地震が発生し、熊本県・大分県各地に多大なる被害をもたらしました。

御船町においても、4月14日の前震（震度5強）と16日の本震（震度6弱）、度重なる強い余震によって、人的・建物被害が発生しました。また、地震による地盤の緩み・地割れのうえに、梅雨時期の豪雨が重なり、多くの場所で浸水被害や土砂災害が発生し、被害を拡大させました。

自宅を失い仮設住宅での暮らしを余儀なくされた方や、基幹産業である農業において、水の確保が困難のために作付を断念し、廃業を考える農家がおられたなど、日常生活や産業活動にも甚大な影響を及ぼしました。

■ 御船町の被害について

区 分		規 模	備 考
人的被害	死者	10 人	R2.10.13 時点
	負傷者	11 人	〃
	軽傷者	10 人	〃
住家被害	全壊	444 世帯	〃
	半壊	2397 世帯	〃
	一部損壊	2178 世帯	〃

区 分	規 模	備 考
避難勧告	最大 全世帯	H28.4.16 時点
避難指示	最大 108 帯	H28.4.24 時点
避難者	最大 6,191 人	H28.4.17 時点
避難所	最大 40 箇所	〃
断水世帯	最大 6,609 世帯	H28.4.16 時点
通行止	最大 19 路線	H28.4.25 時点

地震からの復興

熊本地震の発生後、御船町では、復興に向けて動き出しました。

2017年3月に「御船町震災復興計画」を策定し、①被災者の生活再建、②地域コミュニティの再生、③災害に強いまちづくり、④公共施設の復旧、⑤産業の発展の5つの分野で取り組みを進めています。



△御船町防災備蓄センター



△災害公営住宅（古閑迫団地）

の災害公営住宅の整備が完了しています。熊本地震後に建設された仮設住宅も2020年度には解体工事が行われ、地震からの復旧が進んでいます。また、防災行政無線等の整備や防災備蓄倉庫の設置が行われ、防災強化に取り組んでいます。

さらに、インターチェンジ周辺を中心として、産業拠点形成し、雇用の創出を図るなど、復興に向けての一步を踏み出しています。



△災害公営住宅（木倉団地）



△災害公営住宅（一丁目第2団地）



△災害公営住宅（一丁目第1団地）



△災害公営住宅（旭町団地）



△災害公営住宅（小坂団地）



△災害公営住宅（上高野団地）

御船町にある、九州唯一の音楽単科の大学である平成音楽大学も熊本地震の影響を受け、校舎の8割近くが使用不可能となりました。

現在は、地震からの復旧工事を終えて、新たなキャンパスに生まれ変わりました。レッスン・アンサンブルルームなどを備えた「新本館」、400名収容可能な「ベクトルウェンホール」など、キャンパス内には充実した施設・環境があります。

平成音楽大学は九州唯一の音楽大学として、これからの音楽文化の担い手を育成する役割を担っています。



△復興を遂げた平成音楽大学

日本初の肉食恐竜の化石が発見され、一躍「恐竜の郷」として知られるようになった御船町。この町は、恐竜時代を解き明かすヒント、そして太古のロマンがつまった情報交流発信基地だ。

昭

和54年、御船町でひとつの化石が発見されました。発見したのは、夏休みの自由研究で化石を調査していた小学生。これが、日本初の肉食恐竜の歯「ミフネリュウ」の化石だったのです。

化石が発見された地層は「御船層群」と呼ばれています。日本で産出する恐竜化石は白亜紀前期のものが多くありますが、御船層群の化石は白亜紀後期のもの。この年代の地層としては、国内で最も多様な恐竜化石が産出しています。

テリジノサウルス類、ハドロサウルス類の頭部の化石も見つかっており、世界的にも注目されています。

恐竜博物館では、御船層群の化石をはじめとして、世界中から集められた恐竜の全身骨格標本19体や生物の進化を物語る化石など、標本約850点が展示されています。

化石には、地球の生命40億年の歴史をひも解く手がかりが隠されています。御船町は、恐竜時代を解き明かすヒントと太古のロマンがつまった情報交流基地なのです。

化石遺産 恐竜



1979

(昭和54年)



1990

(平成2年)



1995

(平成7年)

恐竜の郷
Dino world
歴史
History

●昭和54年8月

滝尾地区上梅木で日本初となる

恐竜の歯の化石発見

●平成2年3月

田代地区天君ダム付近で獣脚類

の化石発見

●平成4年11月

天君ダム周辺の御船層群上部層

化石包蔵地を御船町文化財(天

然記念物)に指定

●平成5年5月

天君ダム上流で翼竜の化石発見

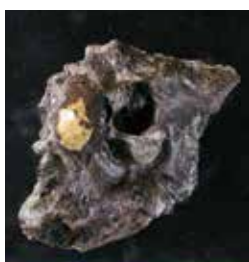
を発表



恐竜の全身骨格標本が展示された館内



2014
(平成 26 年)



2003
(平成 15 年)



1998
(平成 10 年)



1997
(平成 9 年)

- **平成 6 年 9 月**
熊本県から専門職員が派遣され本格的発掘調査と化石のクリーニングや資料整理などを開始
- **平成 7 年 3 月**
御船インターチェンジ入口に恐竜モニュメントが完成
- **平成 9 年 11 月**
田代地区木戸屋付近で恐竜の足跡化石を発見
- **平成 10 年 4 月**
恐竜博物館開館
- **平成 10 年 8 月**
恐竜博物館の発掘調査でアンキロサウルス類の歯の化石を発見
- **平成 11 年 8 月**
恐竜博物館の発掘調査でドロマエオサウルス科の化石を発見
- **平成 12 年 4 月**
恐竜恐竜博物館がリニューアルオープン
- **平成 14 年 6 月**
テリジノサウルス類の歯の化石を発表
- **平成 15 年 6 月**
世界で 3 例目となるテリジノサウルス類の脳かん化石を発見
- **平成 24 年 7 月**
恐竜博物館が米国モンタナ州立大学付属ロッキーマン博物館と姉妹館提携
- **平成 26 年 4 月**
恐竜博物館新館オープン
- **平成 29 年 8 月**
日本初となる後獣類（哺乳類）の化石発見



悠久の歴史 白壁

江戸後期から昭和初期まで、県下第一を誇る「酒造りの町」だった御船。御船川沿いには「白壁の酒蔵」が建ち並び、誇り高き御船の酒を造っていた。



御

船はかつて、県下第一の「酒造りの町」として知られていました。

御船川沿いに築かれた白壁の酒蔵は、安政から明治ごろの建築で、御船のシンボリックな存在でした。

江戸時代の中期ごろ、雑穀屋が灘（兵庫県）から杜氏をつれてきて、酒造りの基を開き、いくつもの造り酒屋が生まれました。そこそが白壁の土蔵群でした。記録では、延べ29軒の造り酒屋を数え、最盛期には12軒あったといえます。

酒造りの好況は大正末期まで続きましたが、昭和初めの世界恐慌での全国的な不況のあおりや国策の重税で造り酒

屋は経営が行き詰まりました。不況と経営不振で、御船の造り酒屋は廃業や倒産に追い込まれていったのです。

昭和20年、御船の造り酒屋は3丁目の常薫酒造（株）と菊の露酒造（株）の2社となりましたが、昭和30年代に登場したビールで消費が低迷。日本酒の売上げ不振や後継者不足も追い打ちとなり、昭和50年代に相次いで廃業しました。

こうして、約200年続いた御船の醸造伝統の灯が完全に消えたのです。そして、上荒瀬に残っていた上田酒造の酒蔵が昭和58年に、3丁目の酒蔵が昭和60年に河川改修で解体され、白壁の歴史は幕を閉じたのです。



→昭和30年代、五庵橋から望む上田酒蔵の酒蔵（提供／松永写真館）



悠久の歴史 先哲

古くから上益城地方の政治、経済、文化の中心であった御船。江戸末期には、志高い先哲が古里、肥後藩、国のためにその生涯を捧げた。

宮部 みやべ

鼎蔵 ていぞう

〔1820—1864〕



△宮部鼎蔵の肖像画（所蔵／七滝中央小学校）

肥後勤王党の総帥・宮部鼎蔵は文政3年（1820）4月、御船町上野南田代で生まれました。

鼎蔵は宮部家の長男で名を増実といいました。代々医家でしたが、叔父・宮部丈左衛門増美の家を継ぎ、山鹿流の兵学を修めました。31歳のとき、肥後藩の兵学師範となりました。

国学者・林桜園の原動館に入り、国学古典の研究を深めました。長州藩の吉田松陰とは仲のいい友人で、東北諸藩を遊歴。諸国志士と交友し、尊王攘夷の信念を深くしたのです。

文久元年（1861）12月、清川八郎らの肥後訪問

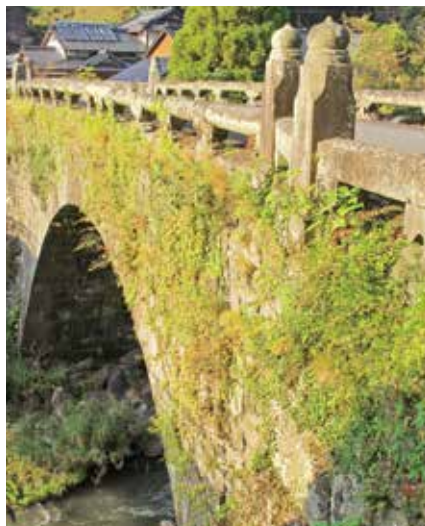
を転機に、京で尊王攘夷運動に奔走しますが、同3

年（1863）8月、政変で七卿と共に長州へ落ちました。鼎蔵はその後、筑後の真木和泉らと忠勇隊を組織。尊攘派の勢力回復を目指して、再び京へと向ったのでした。

元治元年（1864）6月5日、京の池田屋で肥後や長州の勤王党浪士ら20数名と会談中、新選組の襲撃に遭い、自刃。享年45歳。鼎蔵が落命してわずか5年後、明治維新を迎えたのでした。



▷ 鼎春園に建造されている宮部鼎蔵の銅像



下鶴眼鏡橋

—しもづるめがねばし—

名工が満4年の歳月を費やした大型アーチの石橋です。美しい石組み、風格ある佇まいが印象的。添石には徳利と杯がユニークに彫られています。

● DATA
所在地／御船町滝尾
架橋年／明治16年(1883)
石工／橋本勘五郎、弥熊
全長／24.9m
幅／5.65m
高さ／14.2m
駐車場／なし

悠久の歴史 石橋

旅人をつなぎ、物資を運び、人々の生活を支えた石橋群は、時代を超えて今なお愛されつづけている。



八勢目鑑橋

—やせめがねばし—



門前川目鑑橋

—もんぜんがわめがねばし—

緑川流域で最も古い石橋です。アーチの石組みをクサビで止め、もう一重の輪石で補強された珍しい工法。平成27年5月、熊本県指定重要文化財に認定されました。

● DATA
所在地／御船町木倉
架橋年／文化5年(1808)
石工／不明
全長／7.4m
幅／2.7m
高さ／4.3m
駐車場／なし

江戸時代に、肥後(熊本県)と日向(宮崎県)を結ぶ交通の要衝「日向往還」に架けられた石橋です。八勢川本流と左岸の用水路に架かるアーチ型で、全長62m、幅4m、高さ14・5mを誇ります。

昔、この山あいの八勢川は、ひとたび長雨が降れば激流となり、村人たちが命がけでつくった木橋も容赦なく押し流し、数十日も交通が途絶える始末でした。

そんな状況をみかねたのが、地元の豪商・林田能寛。安政2年(1855)、巨額の私財を投じて、悲願の石橋を架橋させました。以来、幾度となく大雨に見まわれましたが、強固な石橋が流されることはありませんでした。

昭和58年3月、老朽化により新しい八勢橋が架けられると、静かにその役目を終えました。翌年3月には、熊本県指定重要文化財に登録。今も当時の趣を残しながら、地域住民に愛されています。

● DATA
所在地／御船町上野
架橋年／安政2年(1855)
石工／宇助(卯助)
全長／62m 高さ／14.5m
幅／4m 駐車場／4台

参考文献／御船風土記・御船町史・くまもと石橋くるとたび

御船町 特産品

御船町の食品や農産物、工芸品等を特産品として認定している地域ブランド「御船のいさぎ」。

「いさぎ」は、熊本弁で元気・たくさん・とてもを表し、御船町の風土記では、素晴らしいという意味を含む言葉です。

認定については、他商品とある程度の優位性が保たれ、生産者の想いがこもった商品の中で、御船らしさや独自性など自信と誇りを持って発信できるものを認定しています。



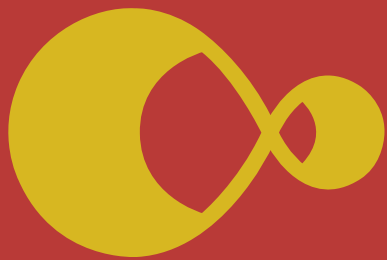
農林業



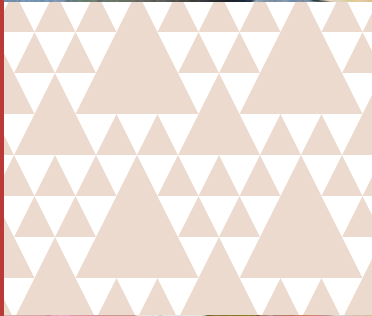
△御船町にある棚田

農業は、米・麦を中心とした平坦地域と、米・露地野菜を中心とした中山間地域に大別されます。平坦地域における農業は、水稲と麦等の土地利用型農業が中心で、葉タバコ農家を核とした飼料用稲の作付けに加え、近年は大豆の作付面積が増加しています。

また、中山間地域においては、阿蘇外輪山の伏流水と昼夜の寒暖差を利用した、多品目の露地野菜栽培が行われています。



御船の いさぎ



町の面積の約半分を森林が占めていて、森林面積（5557ha）のうち人工林が半数を占め、その多くはスギ、ヒノキなどの針葉樹となっています。森林資源が豊富であるため、古くから筍の生産も盛んな地域です。

平成31年4月から、森林環境譲与税を活用し、林業担い手の確保・育成を図りながら、森林境界の明確化及び水源涵養や山地災害防止等の公益的機能を持続的に発揮させるための、切り捨て間伐等を行い、森林整備を計画的に推進しています。

▽整備された森林



△山なみ

神の水 水源

阿蘇外輪山のすそ野「吉無田水源」は、湧水量が1日あたり1万3千リットルで、「くまもと名水百選」に選定されています。

うっそうと茂る周囲の木々は、水不足を心配した肥後細川藩が文化12年（1867）から慶応3年（1919）までに行った植林によるものです。

水温は13度。3万鉢を誇る吉無田の森林が含む

伏流水と、地下水脈がフレンドした湧水は、冷たくまろやか。御船の飲料水、農業用水として重宝される「神の水」です。

休日には、水と涼を求めて訪れる人も多い避暑地。水源のそばには、道を隔てて水神社と山神社のパワースポットがあり、心が和みます。



ローンスキーやキャンプを楽しめる吉無田高原「緑の村」

高原

標高650mに広がる吉無田高原「緑の村」。時間を忘れて子どもから大人までが楽しめる自然体感ランドだ。

なだらかに起伏するローンスキー場や有明海、雲仙岳を一望できるロケーションは、九州でも指折りの高原美を誇ります。

緑の村は、ローンスキーやマウンテンバイク（MTB）を楽しめるレジャー施設です。このほか、緑豊かな木立に囲まれたキャンプ場では、電源付きオートサイトや眺望抜群のゆうすげの丘で、テントの持ち込みもできるため、宿泊する人のレベルに合わせたキャン

プが楽しめます。

また、手ぶらで宿泊可能なグランピング施設「星の森ヴィラ」での贅沢なひとときも味わうことができます。

一帯でのイベントは、▽春の野焼き▽大型連休中の草スキー大会▽MTB大会などが開催されます。都会では味わえない、自然が織りなす、ちよつと贅沢な時間を約束します。

1



2



3



4



- 1 水源のパワースポット水神社
- 2 水源から湧きでるミネラルウォーター
- 3 手軽にキャンプが楽しめる「星の森ヴィラ」
- 4 子どもに大人気の草スキー
- 5 高原を駆け抜けるマウンテンバイク



5

祭り

●があーっぱ祭り



伝統

●御船精霊流し

文化

伝統芸能

この地には、古から伝わる郷土の伝統芸能がある。代々暮らしてきた人たちが、絶やすことなく受け継いできた文化は、現代と次代を生きる人々の心を熱く魅了する。

カップパ伝説の祭り

御船には古くから、水にまつわる伝説や伝統芸能が伝わっています。

町中心部を流れる御船川には「カップパ伝説」が今に残ります。悪さをするカップパを祭り客として呼んだところ、御船の商売が繁盛したとか。この伝説にちなんだものが「があーっぱ祭り」です。カップパの山車や仮装をした総踊りが

ユニークで、御船最大の夏祭りとなっています。

母なる川に幻想の光

熊本三大精霊流しの一つに数えられる「御船精霊流し」。初盆を迎えた家族が精霊船を流して、故人を偲ぶ伝統行事です。

幻想のともしが光の帯を連ねて、御船川を照らします。この地で暮らし、古里を愛し



た故人との思い出を乗せた精霊船が、「母なる川」から先祖の元へと送り出されます。

御神体と氏子行列

神幸行列が練り歩く「通し物」は、町無形民俗文化財に指定されています。

起りは、享保17年(1732年)に御船川大洪水で若宮神社の御神体が流され、氏子らが行列で迎えに行ったことによると伝わっています。

化粧まわしの少女が太鼓を鳴らし、三味線の音に合わせて、稚児らが古謡を合唱しながら列を連ねます。御船に秋の訪れを告げる風物詩です。

雨よぶ寅舞

寅と子猿が、太鼓や鐘、笛の音に合わせて絡みながら舞う古閑迫「寅舞」は、町無形民俗文化財に指定されています。

起りは、氏神の神社を井手沿いに移す際、浄財集めに舞ったことによる、と伝わっています。寅舞が来ると雨が

降るといわれ、雨乞いの踊りになったといわれています。

寅舞は、道楽、本舞い、曲相撲、興し、向山太鼓の5部構成。毎年、井手祭りで奉納される伝統芸能です。





いにしえ

古の継承 歳時記

御船の四季を感じる多彩な催し。名物市や伝統行事、光の祭典は、訪れたものを魅了して五感に語りかける。

2月

初市

上益城郡のトップを切つて開かれる名物市。植木や瀬戸物、初市飴などの露店が軒を連ねます。

●場所 町内一帯

吉無田野焼き

高原山頂から原野20^分を野焼きする春の伝統行事。斜面に燃え広がる炎の帯は圧巻。見学は自由。

●場所 吉無田高原

4月

種いも市

300年以上の伝統を持つ名物市。主役の種イモは上質で種類も豊富。野菜の苗や草花類も販売されます。

●場所 御船橋下河川敷

5月

草スキー大会

小学生や親子を対象にした草スキー大会。芝の斜面で最速を競います。上位入賞者には豪華商品あり。

●場所 吉無田高原



写真左から▼3千発の花火「があーっぱ祭り」▼幻の滝「七滝」▼高原を炎の帯で包む「野焼き」▼植木や瀬戸物が軒を連ねる「初市」

七滝祭り

年に一度よみがえる幻の滝。落差40^{メートル}からの瀑布は迫力十分。会場ではイベントやバザーも開かれます。

●場所 七滝神社周辺

8月

があーっぱ祭り

カッパ伝説に由来する御船最大の夏祭り。山車引き、ステージショー、3千発の花火は見ごたえ十分。

●場所 御船橋下河川敷

御船精霊流し

熊本三大精霊流しに数えられる光の祭典。初盆を迎えた家族が万灯籠^{まんどろう}、精霊船を流し故人を偲びます。

●場所 御船橋下河川敷

地藏祭り

江戸時代中期から続く祭り。通りには主役のお地藏さまが出座。趣向を凝らした造りものが楽しめます。

●場所 本町通り

9月

井手・平蔵祭り

神の水と称される元禄嘉永井手の恩恵に感謝する祭り。町無形文化財の「寅舞」が披露されます。

●場所 古閑原守護神社

10月

通し物

神幸行列が町内を練り歩く秋の例大祭。子ども神輿を先頭に、太鼓や三味線の音色が響きわたります。

●場所 若宮神社

日本一住みたい町 笑顔の輪

まちづくりのテーマは、日本一住みたい町。子育て、教育、福祉、環境など、幅広い分野で、きめ細やかなサービスの提供を心掛けている。住民の「笑顔の輪」が連鎖するように。





体験学習

町内の園児や児童を対象にした農業体験をはじめ、竹細工教室や木工教室の体験活動に取り組んでいます。地域住民との交流や地域環境への理解を深めて、子どもたちの健全育成を図っています。



子ども医療費

中学3年生までが対象となっています。就学前まで無料、小学生以上は1カ月1医療機関ごとの自己負担額を通院1,000円、入院2,000円（調剤は無料）までとし、子どもの医療費の助成を行っています。



英語教育

町内の全小学校において、1年生から英語科の活動を行います。英語に親しみながらグローバル社会に適応し、英語でのコミュニケーションスキルを身につけた子どもを育成します。

町では、まちづくりの指針として「第6期御船町総合計画」を策定しています。まちづくりの基本理念として、人をつなぐまちづくり、魅力をつなぐまちづくり、未来へつなぐまちづくりの3つを掲げています。

また、将来像を「みんながわくわくする御船町」と定めて、これらを実現するために、①住み続けたい御船町②人を育む御船町③活力のある御船町④人が集う御船町の4つを基本目標に、住民サービスを提供しています。さらに、震災からの復興を重点課題とし、被災者の生活再建や地域コミュニティの再生などを目標としています。

具体的には、地域コミュニティの推進、健康づくりの推進や子育て中の世帯などにやさしいまちづくり、雇用環境の創出、観光交流や移住定住の促進などを位置づけています。



認知症予防

住み慣れた地域で自分らしく生活を送るために、認知症の予防や支援に取り組んでいます。社会福祉協議会と連携して、認知症サポーター養成や支援リーダー養成を行っています。



地域おこし協力隊

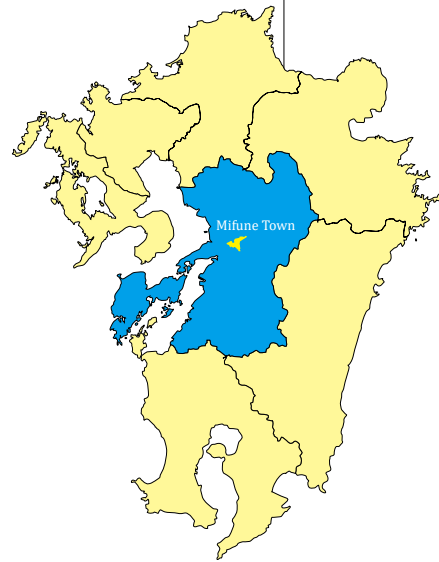
町外から御船町に移住し、観光・地域づくり・農業などの様々な分野の課題解決に向けたミッションに挑戦し、地域の発展の一役を担う存在として貢献しています。



観光ガイド

専門的な知識を持つおもてなし人材として、観光ガイドを養成しています。また、観光案内や、フットパスコース、モニターツアーなどの観光ルートづくりに取り組んでいます。

九州の大動脈 道路網



産業集積が進む御船 | C 東側

九州の大動脈が交わる九州縦貫自動車道と九州中央自動車道を有する御船。陸の玄関口は、九州各県への交通アクセスに優れ、新たな産業の可能性を秘めている。

3つのインターチェンジ

御船町は、熊本、そして九州の中心に位置しています。道路網では、九州縦貫自動車道「御船インターチェンジ（IC）」をはじめ、九州中央自動車道「小池高山IC」や「上野吉無田IC」を有しており、全国でも稀な3つのICがある「九州の大動脈」として注目されています。

高速道路を利用すれば、福岡までおよそ90分。一般道では、熊本市内まで30分と利便性が高く、交通アクセスに優れた場所として、立地条件が整っています。

企業立地の状況

●平成 21 年 9 月

(株)エイシン（福岡市）が白岩産業団地に熊本営業所を進出決定

●平成 23 年 3 月

(株)大福物流（甲佐町）が白岩産業団地に物流拠点を進出決定

●平成 23 年 12 月

(株)九州食糧（熊本市）が白岩産業団地に精米工場を進出決定

●平成 26 年 3 月

シモハナ物流(株)（広島県坂町）が白岩産業団地に熊本物流センターを進出決定

●令和元年 6 月

コストコホールセールジャパン(株)（川崎市）が御船 I C 東側に会員制倉庫店を進出決定



立地協定を締結して報道陣への撮影に応じる、左から藤木正幸町長、蒲島郁夫知事、ケン・テリオ代表取締役

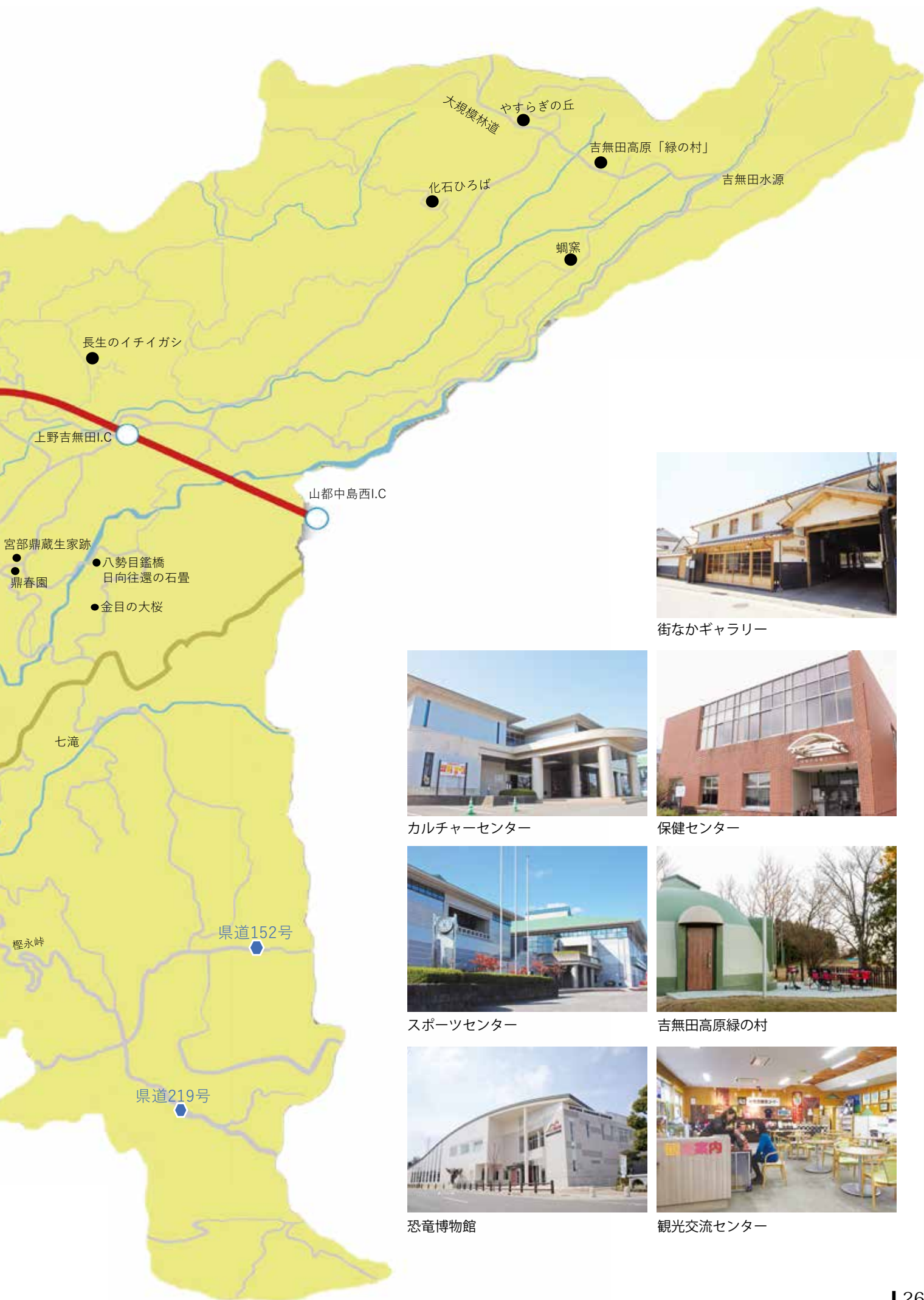
町では、雇用の創出、移住定住の促進、税収の増加、財政の健全化などの経済的波及効果が期待できる企業誘致を推進して、I Cを中心とした産業拠点の集積を目指していきます。

九州では、福岡県久山町と北九州市に続き3店舗目で、南九州では初出店となり、新たな人の流れが期待されます。

令和3年4月、御船町大字小坂（通称・御船I C東側）に、コストコホールセール熊本御船倉庫店がオープンしました。

中でも、令和元年6月には、会員制倉庫店を展開するコストコホールセールジャパン(株)（川崎市）と御船町は、熊本県を立会人に、立地協定を締結しました。

産業拠点の集積へ



街なかギャラリー



カルチャーセンター



保健センター



スポーツセンター



吉無田高原緑の村



恐竜博物館



観光交流センター

Mifune Map



御船町役場



町民グラウンド



子育てふれあい館

◎高速道路

御船IC～太宰府IC

車で **90** 分

◎新幹線

御船市街～熊本駅

車で **30** 分

◎飛行機

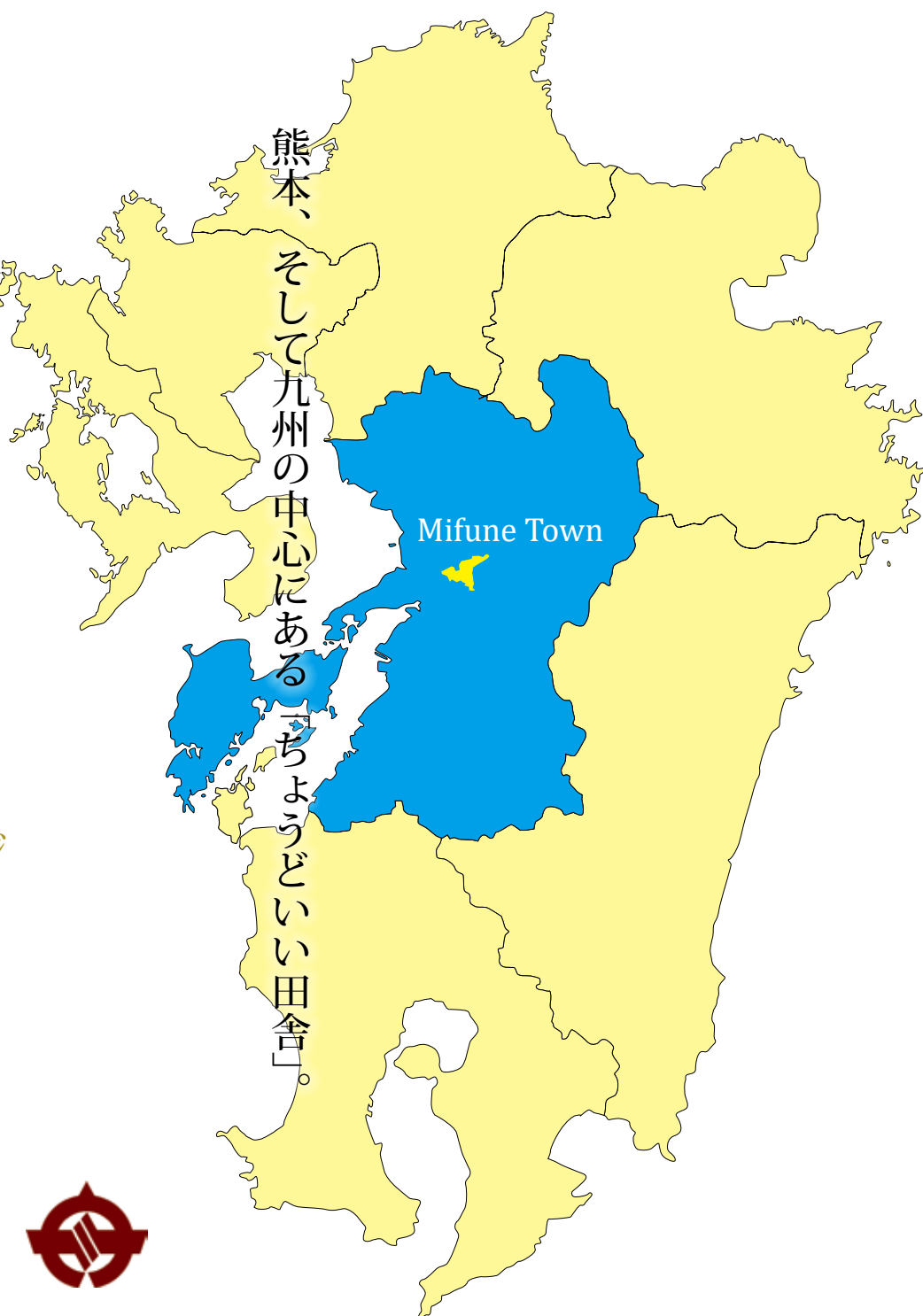
御船市街～阿蘇くまもと空港

車で **30** 分

◎インターチェンジ

御船市街～御船IC
小池高山IC

車で **5** 分



御船町町勢要覧 2021

発行／熊本県御船町

編集／企画財政課

〒861-3296

熊本県上益城郡御船町御船 995-1

TEL.096-282-1111 (代) FAX.096-282-2803

URL <http://www.town.mifune.kumamoto.jp/>

